

第4回

創薬等支援技術基盤プラットフォーム 公開シンポジウム(平成28年度)

「知って、使って、進む あなたの研究」

世界最先端の力で創薬につながる生命科学研究を支援しています

創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業はこれまでの国家プロジェクトで整備された基盤を用い、他の研究者からの支援申請に応じて、事業課題を担当する最先端研究者が技術的な「支援」を行い、さらに関連する支援技術の「高度化」も推進するという、前例のない取り組みとして2012年の開始当時から関心を集めてまいりました。第1部では最終年度を迎えた同事業の現在を5年間の成果報告をもとにご覧頂きます。また、第2部では最新技術紹介の講演などから、今後の創薬等生命科学研究の流れ、2017年以降の方向性について、アカデミア、企業研究者、その他、事業内外のたくさんの皆様とご一緒に探ってまいります。

プログラム

- 10:30-10:35 開会の辞 田中啓二 (AMED PS/東京都医学総合研・所長)
10:35-10:40 プログラムディレクター挨拶 竹中登一 (AMED PD)
10:40-10:45 来賓挨拶 文部科学省
- 10:45-11:45 **第1部-1 解析拠点より5年間の成果について**
■ 座長: 吉田賢右 (AMED PO/京産大・シニアリサーチフェロー)
解析拠点の活動と成果
若槻社市 (高エネ機構・物構研/スタンフォード大・教授)
HGF-MET受容体の制御・構造解析支援と創薬
松本邦夫 (金沢大・がん進展研・教授)
Rac活性化を標的とした新しい「抗がん剤」創出の試み
福井宣規 (九州大・生体防御研・教授)
筋ジストロフィー原因タンパク質の構造生物学
遠藤玉夫 (東京都健康長寿医療センター研・副所長)
- 11:45-12:30 **第1部-2 制御拠点より5年間の成果について**
■ 座長: 菅野純夫 (AMED PO/東大院・新領域・教授)
制御拠点による創薬探索研究の横串支援
長野哲雄 (東大・創薬機構・名誉教授/客員教授)
抗バイオフィルム感染症薬の開発に向けた化合物スクリーニングと作用機序研究
奥田賢一 (慈恵医大・医・講師)
肝臓がんを抑制する新規化合物K67の同定とその作用機序
一村義信 (新潟大・医学部・准教授)
- 13:30-14:00 **第1部-3 情報拠点より5年間の成果について**
■ 座長: 田中啓二 (AMED PS/東京都医学総合研・所長)
情報拠点の成果: 構造生命科学クラウドの構築
中村春木 (阪大・蛋白研・所長/教授)
ゲノム情報の理解に向けたタンパク質立体構造情報の活用
木下賢吾 (東北大院・情報科学・教授)
- 14:00-16:40 **第2部 次世代の創薬に期待される先端技術の紹介**
■ 座長: 吉田賢右 (AMED PO/京産大・シニアリサーチフェロー)
① 低温電子顕微鏡
藤吉好則 (名大院・創薬科学・特任教授)
② 計算科学
秦地真弘 (理研生命システム研究センター・副センター長)
③ 創薬支援インフォマティクスシステム
水口賢司 (医薬基盤・健康・栄養研 ハイオインフォマティクスプロジェクトリーダー)
■ 座長: 田中啓二 (AMED PS/東京都医学総合研・所長)
④ エクソソーム
落谷孝広 (国立がんセンター研究部・分子細胞治療・主任分野長)
⑤ 免疫チェックポイント阻害剤
濱西潤三 (京大医・医・講師)
⑥ 中分子創薬
小路弘行 (株式会社PRISM BioLab 代表取締役)
- 16:40-17:00 創薬等PFの5年間(閉会挨拶)
田中啓二 (PS)/吉田賢右 (PO)/菅野純夫 (PO)
※講演者・演題等変更になる可能性があります。

日時: 2016年 **12月7日(水)**
10:30~17:00

場所: **有楽町朝日ホール**
東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F

定員: **600名**(参加対象: 一般/事前参加登録必要)

参加費: 無料



アクセス ● JR (山手線・京浜東北線) 有楽町駅 中央口または銀座口
東京メトロ (丸ノ内線・銀座線・日比谷線) 銀座駅 C4出口
東京メトロ (有楽町線) 有楽町駅 D7出口 いずれも徒歩1~2分

参加申し込みはこちらから <https://www.omc.co.jp/pford2016/>

お問い合わせ先 シンポジウム事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34-1 新宿御苑前アネックスビル 株式会社オーエムシー内
TEL:03-5362-0117 FAX:03-5362-0121

